

行程を走り終える

聖書：Ⅱテモテ 4:7 中、使徒 20:24、Ⅰコリント 9:24-26、ヘブル 12:1-2 前半

I. 「わたしは……行程を走り終え……ました」——Ⅱテモテ 4:7 中：

- A. パウロは、主によって所有された後に天のレースを走り始め、そして走り続け（Ⅰコリント 9:24-26、ピリピ 3:12-14）、そのレースを走り終えようとしてしました（使徒 20:24）。
- B. 今や最後になって彼は、「わたしは……行程を走り終え……ました」と勝ち誇って宣言することができました（Ⅱテモテ 4:7 中）。彼はこの事のゆえに、主から賞（義の冠）を受けるでしょう（8節）。

II. 正常なクリスチャン生活は、行程を走ること、レースを走ることを含みます。それは神の永遠の定められた御旨にしたがって神のエコノミーを遂行するためです——Ⅰコリント 9:24、

エペソ 1:11、3:11：

- A. わたしたちは、主がわたしたちのために定めた旅路を尋ね求め、忠信にその中を歩み、あらゆる代価を払って、心を尽くしてわたしたちの旅路を継続して、ついには目的地に到達する必要があります——Ⅱテモテ 4:7 中。
- B. 主がわたしたちのために定めた旅路はレースであり、わたしたちはみな走らなければなりません——ヘブル 12:1。
- C. わたしたちは「前に置かれているレースを、忍耐をもって走」る必要があります——1節：
 - 1. 使徒パウロのように、すべてのクリスチャンはレースを走って、賞を勝ち取らなければなりません。この賞は、一般的な意味での救いではなく、特別な意味での褒賞です——10:35、Ⅰコリント 3:14-15、9:26-27、ピリピ 3:13-14。
 - 2. わたしたちは忍耐をもってレースを走り、忍耐をもって反対に耐える必要があります——ヘブル 12:2-3。
- D. わたしたちがクリスチャンのレースを走るのは、「わたしたちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめ」ることによります——2節前半：
 - 1. イエスは、信仰の創始者、すなわち信仰の創設者、開始者、源、要因です——2節：
 - a. 信者たちの信仰は、実は彼ら自身の信仰ではなく、彼らの中へと入って彼らの信仰となったキリストです——ローマ 3:22、ガラテヤ 2:16。
 - b. わたしたちの信じることは、キリストが引き寄せることに対する反応として、キリストを高く評価することです——ローマ 10:17。
 - c. わたしたちは他のあらゆるものから目を離すことによって、専一な注意力をもって、イエスをひたすら見つめる必要があります——ヘブル 12:1-2 前半、雅 1:4、詩 27:4。
 - d. わたしたちがイエスをひたすら見つめるとき、命を与える霊としての彼は（Ⅰコリント 15:45 後半）、ご自身を、すなわち彼の信じる要素を、わたしたちに注入します。
 - 2. 信仰は、実体化する能力、まだ見ていない事柄や望んでいる事柄を実体化し、実体を与える能力です——ヘブル 11:1：
 - a. わたしたちは、信仰の霊であるわたしたちのミングリングされた霊を活用して、主について経験したものを信じ、語らなければなりません——Ⅱコリント 4:13。
 - b. 信仰は、聖霊とミングリングされたわたしたちの霊の中にあります——Ⅰコリント 6:17。
 - 3. わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目をとめ、それを見つめます。なぜなら、見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠であるからです——Ⅱコリント 4:18：
 - a. クリスチャン生活は、見えないものの生活です——ローマ 8:24-25、ヘブル 11:27、Ⅰペテロ 1:8、ガラテヤ 6:10。

- b. 召会の墮落は、見えないものから見えるものへの墮落です。主の回復は、彼の召会を見えるものから見えないものに回復することです——ヨハネ 20:25. II コリント 5:7. ローマ 8:24-25. I ペテロ 1:8.
4. イエスは、信仰の完成者、すなわち、信仰の成就者、完結者です——ヘブル 12:2 :
- a. 主イエスは信仰の完結者として、ご自身を信じる要素また能力としてわたしたちの中へと絶えず注入します。
- b. わたしたちが彼をひたすら見つめるとき、彼は天、命、力をわたしたちに供給し、彼であるすべてをわたしたちに伝達し、注入します。それによってわたしたちは地上で天のレースを走り、天の生活をすることができます——II コリント 3:18.
- c. わたしたちが絶えずイエスをひたすら見つめているとき、彼は、わたしたちが天のレースを走るのに必要とする信仰を成就し、完結させます——ヘブル 12:1-2 前半。
- E. わたしたちは、イスラエルの子たちの予表によって励ましと警告を受ける必要があります。良き地へと至る彼らの旅路は、わたしたちの良き地（すべてを含むキリスト）へと至るクリスチャンのレースを予表します——I コリント 10:1-13 :
1. わたしたちはキリストを通して贖われ、サタンの束縛から救い出され、神のエコノミーの啓示の中へともたらされました。
2. しかしわたしたちは、神の召しの目標に到達することで失敗するかもしれません。神の召しの目標とは、わたしたちの良き地であるキリストの中へと入ってそれを所有し、神の王国のために彼の豊富を享受することです。それによってわたしたちは、現在の時代において彼の表現となり、王国時代においてキリストの最も満ち満ちた享受にあずかります——ピリピ 3:12-14. マタイ 25:21, 23.
- F. わたしたち一人一人のために神によって定められた旅路の最後の部分は、この旅路の最も困難な部分です——参照、マルコ 6:45-51 :
1. クリスチャンの生涯における重要な事は、主が定めた旅路を探し出して、その中を忠信に歩くことです。
2. わたしたちは正しい行程にいることを喜ぶかもしれません。しかし、どのようにわたしたちがそれを走り、それを終えるかは、依然として問題です。
- G. わたしたちはどんな理由があっても、うみ疲れて、魂が気落ちするべきではありません（ヘブル 12:3）。反対に、わたしたちは最後までレースを走る者となるべきです :
1. うみ疲れることは、魂において力がなくなることです。あらゆる事がむなしいかのようです。
2. 倒れても再び起き上がる者が、最も良いランナーです。「わたしの敵よ、わたしのことで喜ぶな。たとえ倒れても、わたしは起き上がる。たとえ暗やみの中に座っても、エホバはわたしの光となられる」——ミカ 7:8.
1. わたしたちは、放棄したり、うみ疲れたり、魂が気落ちしたりするべきではなく、イエスをひたすら見つめて、前に置かれているレースを走るべきです——ヘブル 12:2 前半。